

平成22年度 宗像市青少年センター施設の管理及び運営状況

(1) 利用団体登録状況（平成23年3月31日現在）

・・・35団体

(2) 平成22年度 宗像市青少年センター 利用状況

①会議室

平日昼間178回、平日夜間18回、土・日・祝日44回 合計240回

②多目的ホール

平日昼間102回、平日夜間22回、土・日・祝日49回 合計173回

③団体別利用回数

子どもの居場所づくり事業に関する団体

：会議室利用回数 年間66回、多目的ホール利用回数 年間69回

発達支援センターでの利用

：会議室利用回数 年間93回、多目的ホール利用回数 年間94回

学校適応指導教室での利用

：会議室利用回数 年間43回、多目的ホール利用回数 年間0回

子育て支援センターでの利用

：会議室利用回数 年間24回、多目的ホール利用回数 年間0回

その他の会議等での利用

：会議室利用回数 年間14回、多目的ホール利用回数 10回

④今後の課題

平成23年度の課題としては、引き続き利用の啓発を行い登録団体の増加を図る。

また、施設内で発達支援センターの相談業務を行っていることから、平日昼間の利用は制限があるため、土曜日・日曜日・祝日、夜間の利用をPRしていく。

※啓発の具体的方法

- ・子ども育成課関係会議で参加団体に利用PRと活用の啓発を行う。
- ・子どもまつり子ども実行委員会の準備・打合せ等の活動拠点として利用を行う。また、活動を通じて、小・中・高・大学生に対する利用PRと活用啓発を行う。

以上の2つの活動を重点課題とし、活用の啓発を行っていく。

(3) 平成22年度 宗像市青少年センター 相談業務報告

一般相談状況

①相談件数

面接相談	電話相談	合計(新規)
93	80	173(60)

適応指導教室に関する相談では、通室に至るまでの相談が件数に含まれています。今年度は電話相談より面接相談の件数が多く占めています。電話での相談後、来談での面接につながるよう取り組んだ結果、より継続的な支援を行うことが出来たと思われます。

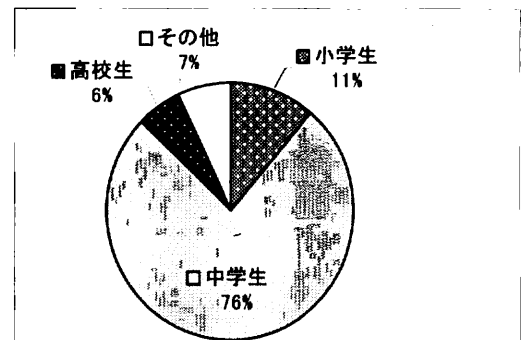
②相談内容別件数

区分	学業	いじめ	友人関係	対教師	不登校	進路	その他学校生活	性格	身体	性	親子関係	夫婦関係	家庭経済問題	しつけ・生活習慣	家庭生活	家出	盗み・万引き	非行・シンナー	障害・就学	OBの追指導	情報交換	その他	合計
件数	2	2	3	5	75	2	9	0	1	3	1	0	0	6	12	0	0	4	4	3	34	7	173
%	1.2	1.2	1.7	2.9	43.4	1.2	5.2	0.0	0.6	1.7	0.6	0.0	0.0	3.5	6.9	0.0	0.0	2.3	2.3	1.7	19.7	4.0	100

適応指導教室が併設されている為、不登校に関する相談が例年多い傾向にある。不登校の相談では、学校を中心とした他の機関から紹介されて適応指導教室へつながるケースが多くあった。また、不登校を主訴とした相談であっても、背景には様々な問題がある為、学校関係者との環境調整や医療機関、その他相談施設との連携は不可欠である。今後も、地域全体で支援する体制づくりが必要である。

③学識別・月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
小学生	2	3	0	3	0	3	3	3	2	0	0	0	19
中学生	4	9	11	7	4	15	16	21	12	16	9	8	132
高校生	1	0	2	0	2	0	0	0	1	1	0	3	10
その他	0	0	2	0	0	1	2	2	4	1	0	0	12
合計	7	12	15	10	6	19	21	26	19	18	9	11	173



学識別を見ると、中学生からの相談が約8割を占めている。これは、適応指導教室の通室生が中学生のみであった為であると思われる。
月別では、例年、新学期が始まった翌月の相談件数が多くなっている。

(4) 平成22年度 宗像市学校適応指導教室業務報告

①活動内容

- (ア) 学習 午前中45分×3時間構成。時間割をもとに、自主学习・個別指導が中心。
 (イ) 午後活動 午後約45分間実施。運動、音楽活動、創作活動、野菜・草花作り等を実施。
 (ウ) 特別行事 調理実習、野外活動、宿泊研修。
 教育ボランティア講師の先生による創作活動や文化活動

②入室状況

(ア) 年度別入室者

	20年度	21年度	22年度
小学生	0人	3人	0人
中学生	12人	13人	10人
合計	12人	16人	10人

(イ) 平成22年度入室者内訳

	男子	女子	全体(学年別)
小学生	0人	0人	0人
中学1年生	0人	0人	0人
中学2年生	0人	3人	3人
中学3年生	3人	4人	7人
全体(性別)	3人	7人	10人

③学校復帰状況

(ア) 平成22年度通室生の学校復帰状況

	通室生	うち学校復帰	うち継続通室	うちその他
小学生	0人	0人	0人	0人
中学1年生	0人	0人	0人	0人
中学2年生	3人	0人	3人	0人
中学3年生	7人	6人(現高校1年生)	—	1人
全体	10人	6人	3人	1人

(イ) 平成22年度通室生(中学3年生)の進路状況

通室生	進学	就職	その他
7人	6人	0人	1人

④今後の課題

- ・個別の対応(導入段階で、別室等の個別対応が迫られる)
- ・基礎学力の定着(毎日通室することが困難な為、継続的な学習につながらない為)
- ・基礎体力の定着(安定した通室ができず、運動の機会が少ない為)
- ・集団活動の工夫(通室ペースが異なる為、活動内容を事前に計画し、実行することが困難)